

## 1 策定の趣旨及び見直しの目的

### 1 計画策定の趣旨及び見直しの目的

- ▶ 計画策定後の社会・経済情勢の変化を反映しつつ、工業用水の安定供給を図るため、長期安定的な経営を確保しながら、強靱化対策・漏水対策等を計画的・重点的に推進

### 2 計画の位置付け

- ▶ 「企業局第4次経営計画」の施設整備に関する個別計画
- ▶ 「山口県公共施設等マネジメント基本方針」と整合した個別施設計画

### 3 計画期間

- ▶ 2019～2028年度（10年間）
- ※ 見直しの期間は2024～2028年度

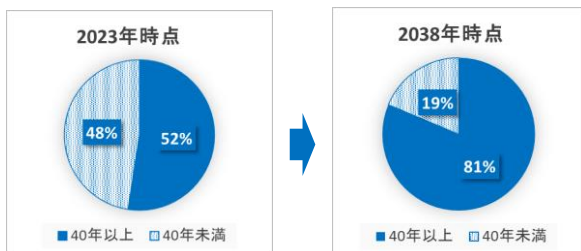
## 2 工業用水道事業の現状と課題

### 1 現状

- ▶ 15工業用水道事業（瀬戸内沿岸部）
- ▶ 全国1位の給水能力 日量173万m<sup>3</sup>
- ▶ 管路 242 km、隧道 78 km

### 2 課題

- ▶ 周南地区や宇部・山陽小野田地区では漏水による水不足が慢性化
- ▶ 法定耐用年数の40年を経過する管路の割合が、15年後に52%から81%へ急増するなど、施設の老朽化が急速に進行



- ▶ 管路の耐震化率は約62%
- ▶ 法定耐用年数で更新（耐震化）した場合、30年間（2019～2048年度）の更新需要は約1,341億円と見込まれ、今後の事業経営や料金水準に影響
- ▶ 自然災害の頻発化・激甚化や燃料価格や物価の高騰等への対応が必要

## 3 施設整備の基本的な考え方

### 1 基本的な考え方

- ▶ 国のアセットマネジメント指針により、施設の更新時期の最適化や、中長期的な財政収支見通しに基づく事業費の平準化を図りながら、適切かつ合理的な更新等を実施
- ▶ 施設の健全性及び長期安定経営を確保しながら計画的・重点的な施設整備を推進

### 2 強靱化対策

- ▶ BCPを踏まえたハード・ソフト両面からの耐震化等の強靱化対策を実施

### 3 バックアップ機能の強化

- ▶ 断水することなく安定供給が可能となるように、二条化・ループ化等のバックアップ機能の強化を実施

### 4 施設の計画的な更新

- ▶ 健全度や重要度に基づく優先付けや更新時期の最適化を図りながら、計画的・重点的な更新を実施

#### 【管路の健全度評価と更新時期】

健全度評価	(総合評価点数)内 容	管路延長 (km)	更新時期
I・II	(50点超～100点以下) 健全又は許容可	205	当面更新不要
III	(30点超～50点以下) 計画的な更新が必要	22	概ね30年以内
IV	(0点～30点以下) 速やかな更新が必要	15	概ね10年以内

### 5 水資源・漏水対策

- ▶ 2020年から周南地区において、島田川工業用水道事業により、日量14,100m<sup>3</sup>を給水

### 6 広域化推進

- ▶ 複数の事業間における施設・設備の共有等による広域化を推進し、コストを縮減するとともに、安定供給体制を強化

## 4 安定経営の確保

### 1 長期的視点に立った施設整備

- 長期的（30か年）な視点に立って、施設の強靱化、計画的な更新、水資源・渇水対策、広域化推進等の施設整備について、施設の健全度等に基づき、整備時期及び事業費を平準化

### 2 事業費の平準化

- 平準化した30か年の総事業費は、約1,231億円となる見通し

### 3 計画の妥当性の検証

- 中長期的な財政収支見通しを踏まえ、計画の妥当性を検証
- 低廉な料金水準を維持しながら、安定供給体制の強化と、引き続き安定的な事業経営の確保の両立を図ることが可能

## 5 施設整備計画の事業費

- 総事業費（2019～2028年度）は、約432億円

## 6 具体的な取組

### 1 強靱化対策

- 岩国** 小瀬川工業用水道 送水施設等改良  
2022～2028年度
- 宇部** 厚東川第2期工業用水道 有帆ポンプ場  
ポンプ・予備発電設備更新  
2023～2028年度
- 下関** 木屋川工業用水道 水路橋改良  
2020～2026年度



### 2 バックアップ機能の強化

- 周南** 周南工業用水道 配水管改良  
2019～2028年度
- 宇部** 厚東川第2期・厚狭川工業用水道  
2期ルートバイパス管布設  
2019～2028年度
- 下関** 木屋川・木屋川第2期工業用水道  
二条化 2019～2028年度

## 3 施設の計画的な更新

- 岩国** 小瀬川工業用水道 ポンプ場施設改良  
2019～2025年度



- 周南** 周南工業用水道 配水管改良  
2019～2028年度（再掲）

- 宇部** 厚東川第2期・厚狭川工業用水道  
2期ルートバイパス管布設  
2019～2028年度（再掲）

## 4 水資源・渇水対策

- 周南** 島田川工業用水道 導水施設建設  
2020年7月給水開始



## 5 広域化推進

- 防府** 佐波川・佐波川第2期工業用水道  
送水管改良 2022～2028年度
- 宇部** 厚東川第2期・厚狭川工業用水道  
2期ルートバイパス管布設  
2019～2028年度（再掲）

### 凡例

- 岩国** 岩国・柳井地区
- 周南** 周南地区
- 防府** 防府地区
- 宇部** 宇部・山陽小野田・美祢地区
- 下関** 下関地区

## 7 今後の進め方

- 施設の耐震化などの強靱化や渇水対策等の計画的・重点的な推進
- 複数事業の広域化による施設のダウンサイジング等のコスト縮減及び安定供給体制の強化
- デジタル技術やAIの活用による維持管理の高度化・効率化及び安全性の確保
- 新技術・新工法の導入によるコスト縮減
- 社会・経済情勢等の変化に応じた適切な見直しとPDCAサイクルによる進行管理
- 職員の技術力確保・安全管理意識の醸成